

# 山梨支部 令和3年度広域災害対策訓練

~~~~~ 山梨支部保全委員会幹事 古屋 尚一

山梨支部では広域災害発生を想定し、山梨支部会員63名の動向を調査すると共に他支部、他県会員、一般の方との無線通信状態を調査することを目的とする。

1. 会員動向調査結果については、山梨支部会員動向調査結果にて報告する。

動向調査結果の考察

- ①支部会員全63名に電話をし、62名と連絡を取ることができた。
- ②連絡が取れなかった会員は1名で、固定電話の留守番電話にメッセージを入れたが連絡が付かなかった。(夕方に連絡あり)
- ③携帯電話に登録されていない人からの電話は警戒をするので、お客様からの電話に失礼の無いよう電話帳に登録する。
- ④携帯電話の電波が届かない場所もあるので、自分のいる所の電波の状態を把握しておく。留守番電話を利用して、連絡が遅くなってもお客様に必ず連絡する。
- ⑤需要家にトラブルが発生した時、お客様の立場になると直ぐに連絡が取れないと不安になるので、自分の連絡先、代行者の連絡先、保安センターの連絡先等を伝えておき、直ぐに連絡が取れることが重要である。
- ⑥自宅に電話が来た場合、家族に居場所を伝えてお

き、すぐに連絡ができるようにしておく。

2. 他支部、他県会員との無線通信状態を調査する。  
(無線クラブ員参加)

無線通信調査の結果

①通信個所・電波帯・交信状態

- ・10時05分～10時15分：多摩支部：7MHz帯、極めて交信明瞭
- ・10時25分～10時35分：広島県安芸郡：7MHz帯、交信明瞭
- ・10時55分～11時10分：山梨県内：50MHz帯、極めて交信明瞭
- ・11時15分～11時20分：埼玉県：7MHz帯、極めて交信明瞭
- ・11時25分～11時35分：宮城県利府町：7MHz帯、交信明瞭
- ・11時45分～11時55分：秋田県：7MHz帯、交信明瞭

常置場所での短波用アンテナは今年も安定的に動作していることが確認できた。

電波伝搬も良好で、交信を確立できている。

又、多摩支部 桜井様、埼玉支部 浅井様には、毎年お世話になりお礼を申し上げます。

